



ハンドメイド教室
エコクラフトのポシェット

エコクラフト（紙バンド）で、四つだたみ編みポシェット（携帯電話&財布入れ）を作ります。

- ▶ 期日
 - ① 6月25日(日) 13:00 ~ 16:00
 - ② 6月26日(月) 18:30 ~ 20:30
 - ③ 7月3日(月) 18:30 ~ 20:30
 - ④ 7月4日(火) 18:30 ~ 20:30 (予備日)

▶ 場所
くずま～る2階 A会議室

▶ 講師
向川原ともみさん(茶屋場)

▶ 参加費
2,500円 (材料代)

▶ 対象・定員
中学生以上 10人

▶ 持ち物
眼鏡、はさみ、筆記用具

▶ 申し込み
6月16日(金)までに電話または右のQRコードから申し込みください。定員になり次第受け付けは終了します。
圏まなび交流課 ☎65-8990



※作品イメージ



近藤晴希さん (葛巻中2年)
東京国際ユースサッカー大会出場

近藤晴希さん（葛巻中2年）は5月3日から5日まで、福島県檜葉町で開催された2023東京国際ユース（U-14）サッカー大会に出場しました。



岩手県トレセンで活動する晴希さん

同大会は、ユース（14歳以下）の選手の技術向上や被災地との交流を目的に東京都などが主催するもので、ブラジルやエジプトなど海外のチームを含む12チームが出場しました。

4月に岩手県トレセン（ユース選手の発掘や育成を目的とした制度）に選抜された晴希さんは、ゴールキーパーとして東京都中体連との試合に出場し、PK戦にもつれ込む接戦に見事勝利しました。

晴希さんは「レベルの高い選手ばかりで、もっと技術を磨かなければと思った。体が大きくて足が速い海外選手のプレーを見てとても刺激になった」と話し、今後の活動については「今回の試合での失点場面を思い出して改善し、中総体や新人戦に生かしていきたい」と目の前の目標をしっかり見据えています。



伊藤院長（円内）の講話に笑顔になる参加者

令和5年度葛巻福祉大学開講式は5月12日、まき×まきホールで開催され、約45人が参加しました。福祉大学は高齢者の積極的な社会参加を目的としており、開講式で行われた第1回目の講座では、葛巻病院の伊藤達郎院長が「人生会議と将来の変化に備える」と題して講話しました。人生会議とは、大きな病気やけがをして意思疎通ができなくなった時のために、事前に医療者や家族などと話し合い将来の計画を立てておくことです。

伊藤院長は「今日の会が、将来について考える契機となれば幸いです。配られた『心づもりノート』を活用してみてください」と呼び掛けました。参加した佐藤侑さん（新町）は「身近だけれど難しい話で、家族と考えていかなければいけないと思った」と関心を寄せていました。

引き続き行われた「郷土くずまき」映像上映会では、平成元年の第23回町民大運動会の様子が上映されました。知り合いの当時の姿やユニークな競技の数々に、会場には笑い声が響いていました。

令和5年度葛巻福祉大学開講
自らの将来について考える



町外研修に参加した皆さん

県立美術館の企画展へ
文化財への理解深める

5月19日に開催された町外研修には19人が参加し、県立美術館で開催された企画展「みちのくいとしい仏たち」を観覧しました。

同企画展には本町の「六観音立像」（宝積寺/県指定文化財）や「十王像」（正福寺/町指定文化財）なども展示され、東北の貴重な文化財として紹介されていました。

参加者は「町の仏像を見たことがなく、貴重なものだ」と知ることができて良かった。「宝積寺の仏像が看板にもなっていて、誇らしい気持ちになった」などと感想を話し、町の文化財の価値を改めて感じた様子でした。

公民館
図書室から
本の紹介

● 開館時間：午前8時30分～午後7時



『パンダのおさじとフライパンダ』
柴田ケイコ さく

フライパンダは、呪文ひとつでどんな料理も「パンダ料理」に変える不思議なフライパン。でも、使い方を守らないと大変なことに…！ 小さなパンダのおさじが届ける、不思議で楽しいパンダ道具のおはなし。



『ライスボールとみそ蔵と』
横田明子 作

みそを作る蔵の家に生まれたジュンは、お父さんから「もっとみそに興味を持って」と言われるのが嫌でたまりません。そんな時、ロンドンからの転校生、ユキちゃんに「蔵を見せてほしい」とたのまれ…。



『音楽と生命』
坂本龍一、福岡伸一 著

残された時間、私たちの生を輝かせるために今、何に目を向けるべきか？ がん闘病の中で活動を続ける音楽家と生物学者が、世界のひずみに目を向け、新たな思想を求めて行った対話の記録。